

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公表番号】特表2015-501172(P2015-501172A)

【公表日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2014-534549(P2014-534549)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/72 (2006.01)

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/58 3 1 5

A 6 1 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月5日(2015.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縫合糸穴が横方向に貫通して延在する本体と、前記本体の長さの一部に沿って延在し、前記本体の外面からの所定深さを有する縫合糸凹部と、前記縫合糸凹部の近位端に配置され、かつ遠位端で前記所定深さとほぼ等しい深さを有し、近位端での深さがほぼゼロになるように近位方向において外方に傾斜する縫合糸挟み斜面とを備える植込物を備える組織を骨に留める固定システムにおいて、前記植込物の本体の遠位部分に配置され、固定具の初期展開中に縫合糸を最適に摺動させるため縫合糸の遠位側に骨を移動させる骨移動タブを備える固定システム。

【請求項2】

前記植込物が周囲の骨内に前記植込物を留める外面特徴をさらに備える、請求項1に記載の固定システム。

【請求項3】

前記外面特徴が骨かかりを備える、請求項2に記載の固定システム。

【請求項4】

近位端で前記本体の外面に配置され、前記本体の外面と隣接の骨との間で縫合糸または組織を締め付ける縫合糸かかりをさらに備える、請求項3に記載の固定システム。

【請求項5】

固定具の本体の近位端に挿入装置を収容する開口部を有する内部空隙をさらに備える、請求項1に記載の固定システム。

【請求項6】

固定具を骨に配置するために前記固定具の本体と係合可能である挿入部材をさらに備える、請求項1に記載の固定システム。

【請求項7】

固定具の本体が前記縫合糸挟み斜面に隣接する縫合糸止めをさらに備える、請求項1に記載の固定システム。

【請求項8】

前記挿入部材が近位の握り部分と前記握り部分の遠位端に接続される挿入管とを備える

、請求項 6 に記載の固定システム。

【請求項 9】

前記挿入管の遠位端に対して拡張および後退可能な縫合糸滑車ロッドをさらに備える、請求項 8 に記載の固定システム。

【請求項 10】

前記滑車ロッドの遠位端に一対の止め受けをさらに備え、前記一対の止め受けの間に間隙が設けられる、請求項 9 に記載の固定システム。

【請求項 11】

前記滑車ロッドを前記挿入管に対して後退および拡張させる回転可能なノブを前記握り部分にさらに備える、請求項 9 に記載の固定システム。

【請求項 12】

前記握りに配置されるノブ解放スライドをさらに備える、請求項 11 に記載の固定システム。